

ESD の推進
子どもたちのよさや可能性を引き出し伸ばす教育
教育を核とした持続可能な地域社会の構築

21世紀をたくましく生き抜いていける子ども

「たくましく」⇒

- 1・2年…「あきらめない心」
- 3・4年…「失敗を恐れず、一歩前に踏み出そうとする力」
- 5・6年…「友だちと手を取り合い、周囲を巻き込み、集団の笑顔を自身の喜びとすることができる力」

目指す児童像

- 自ら考え、判断し、行動できる子ども
- 思いやりや感謝の心を大切にできる子ども
- 夢中になれる子ども
- 運動・スポーツが大好きな子ども

目指す教職員像

- 子どもに自信と笑顔を与える続ける教職員
- 子どもの小さな伸びを大切にできる教職員
- 未来のあるべき学校像を思い描く教職員
- 人生を楽しむ術を開拓する教職員

経営方針

—やさしく たくましい【こころづくり】—

○学級経営

- すべての子どもの自己肯定感を育む
～子どもの小さな伸びを大切にしよう～
- 挑戦と失敗から創造へ「失敗していいんだよ」
- 違いを認め合いながら協力し合えるクラス

○特別支援教育

- すべての子どもたちの自立と社会参加，自己実現に全校体制で支援する（定期校内委員会，臨時チームで即対応「みんなで育てる」）

○こころづくり3本柱

- あいさつと触れ合い（私たちが、とにかく笑顔で与え続けよう！）
- 歌声（子どもの心を解き放とう！）
- 清掃（まずは教職員の意識。老朽化とは別）

○異年齢活動，なかよしグループ活動の充実

○いじめ防止対策推進

- 全教職員が一枚岩「いじめは絶対に許さない」
- 道徳，特別活動（学級会，児童会活動）の充実

○教育相談 ・ 援助希求力の育成

【 地 域 】

- スクールガード，PTA 旗振り当番との連携
- 子どもサミット，異校種交流（勝中，八千代高校），幼保小連携
- 地域に笑顔と感謝を届ける子どもたちに
- 外部資源開発による地域スポーツ教室の推進



何をしたいか
この道を選んだのか

愛は勝

子どもは待っている
先生のを顔を
先生のを

—しなやかで じょうぶな【からだづくり】—

○体育科授業

- ・「夢中」になって取り組む体育学習
 - ・体育科の強みを生かしたカリキュラムマネジメントとESD 推進
- ##### ○業間体育（→全クラスへの支援の場「みんなで育てる」）
- ・「一生懸命って素敵なんだ！いいことなんだ！」
 - ・基礎感覚の向上（体づくり運動）
 - ・人間関係づくり（学級遊び，異学年交流，余暇活動）

○運動会，小運動会（陸上記録会）

- ・活躍の場をつくり，絆を深めることで，学級や学年，学校への所属感を高める（「行事で育てる」）。

○健康教育，安全防災教育の推進

【 組織マネジメント 】

- 業務改善（子どもの幸せ，笑顔につながる業務を！）と平準化
- 養護教諭，事務職員等の学校運営参画の継続と支援
- 会議を減らし，ミーティングで連携重視
- 「勤務時間内，心掛けひとつで行動は変えられる。」

—たしかで するとい【あたまづくり】—

○授業を進めるのではなく、「授業で育てる」

- ・いかに自己の課題とさせるか。「楽しさ」なくして「深い学び」なし。
- ・見通しと振り返りの重視（学びの足跡⇒自信と更なる向学心）
- ・授業力UP（研修と実践あるのみ 近道はなし！）

○求められる学力観

- ・下学年…がんばりが認められて，学習意欲が高まる（粘り強さ）
- ・上学年…自ら課題を見つけ，自ら学び方を高める（調整力）
- ・学びの保障，基礎基本の充実と使える知識（知恵）

○個別最適と協働学習の両立

- ・効果的な学習用具としてのタブレット利活用
- ・通級指導，交流学习，ラーニングサポーター等との連携

○言語活動の充実

- ・「国語」がすべての基本。豊かな言語環境を整えよう（発表やプレゼン能力，作文や詩などの創作活動，読書活動）。*文章表現力向上
- ・英語活動，英語教育による外国語表現力の育成

【 危機管理 】

- 防災教育による子どもたちの危険回避能力の育成
- 迅速適切な初期対応「迷ったらやる！」
- 避難所運営委員会

「授業で育てる」

「行事で育てる」

「みんなで育てる」

授業や行事「を進める」のではない。目指す子どもの姿をイメージして，「で育てる」を実践していこう！